



青森県感染症発生情報 (2017年第28週)

I 第28週の発生動向 (2017/7/10~2017/7/16)

1. 感染性胃腸炎については、むつ保健所管内で**警報**が**解除**されました。県全体の定点当たり報告数は第25週以降4週連続で減少しましたが、過去5年間の同時期と比較してやや多いので、注意が必要です。
2. 手足口病及びヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が第25週以降4週連続で増加が続き、過去5年間の平均を上回りましたので、今後の発生動向に注意が必要です。
3. **RSウイルス感染症**については、むつ保健所管内で引き続き定点当たり報告数が多い状態が続いています。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はB型1人でした。

II 第28週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減															
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																
小児科 内科	インフルエンザ															1	0.02	-2												
小児科	RSウイルス感染症															1	0.13	1	0.11	7	0.70			5	1.25	14	0.33	-7		
	咽頭結膜熱															1	0.13	1	0.11	3	0.30	4	0.80					9	0.21	-16
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															7	0.88	15	1.67	11	1.10	6	1.20	1	0.17	3	0.75	43	1.02	-17
	感染性胃腸炎															38	4.75	12	1.33	48	4.80	21	4.20	10	1.67	17	4.25	146	3.48	-68
	水痘															2	0.25	1	0.11	1	0.10	1	0.20			2	0.50	7	0.17	-2
	手足口病															38	4.75	30	3.33	33	3.30			26	4.33	1	0.25	128	3.05	57
	伝染性紅斑															2	0.25											2	0.05	-3
	突発性発しん															3	0.38	3	0.33	9	0.90	2	0.40	5	0.83	3	0.75	25	0.60	8
	百日咳																													0
	ヘルパンギーナ															17	2.13	6	0.67	8	0.80	2	0.40	5	0.83	2	0.50	40	0.95	24
流行性耳下腺炎																			4	0.40	5	1.00	7	1.17	4	1.00	20	0.48	-7	
眼科	急性出血性結膜炎																											0		
	流行性角結膜炎																			1	0.50							1	0.09	-1
基幹	クラミジア肺炎																												0	
	細菌性髄膜炎																													0
	マイコプラズマ肺炎																			1	1.00	4	4.00			1	1.00	6	1.00	-1
	無菌性髄膜炎																			1	1.00	1	1.00					2	0.33	2
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																														-1

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者報告無し。

感染症の窓

夏休みの海外旅行では感染症に注意しましょう

夏休みには多くの方が海外へ渡航されます。海外では、日本にはない病気がたくさんあります。海外旅行では、時差や気候の違いなどから、様々なストレスを受けます。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。

帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、最寄りの検疫所にご相談ください。感染症には、潜伏期間が長いものもあり、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。帰国後に症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず話してください。受診方法で分からないときには検疫所または保健所にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

- ☞ [夏休みにおける海外での感染症予防について\(厚生労働省 HP\)](#)
- ☞ [夏休みに海外へ渡航される皆さまへ!\(厚生労働省検疫所 HP\)](#)

海外旅行での感染症対策

出発前

- ・渡航先の感染症情報を収集
- ・予防接種が可能であればワクチン接種

旅行中

- ・生水を飲まない、氷に注意、十分に加熱したものを食べる
- ・動物に近づかない、蚊やダニに刺されないように注意

帰国時 帰国後

- ・発熱や下痢などの症状があれば検疫所に相談
- ・帰国後に発症したら、受診時に渡航歴を必ず説明



Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、上十三1人（2017年計：161人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人（2017年計：8人）
- ・アメーバ赤痢（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2017年計：3人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人、上十三1人（2017年計：43人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第25週～2017年第28週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H29.6.19 ~ H29.6.25			つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			
26	H29.6.26 ~ H29.7.2	腸管出血性大腸菌 感染症1人	つつが虫病1人	梅毒1人		つつが虫病1人	
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人				つつが虫病1人 梅毒1人	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	腸管出血性大腸菌 感染症1人 アメーバ赤痢1人		梅毒1人		梅毒1人	

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患)

(2017年第25週～2017年第28週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H29.6.19 ~ H29.6.25	2	2	1	1		1
26	H29.6.26 ~ H29.7.2	1	1	1	1		
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	1	2		3	2	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	1	1			1	

Ⅶ 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第27週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	11439	3	75	843	21	8	181	162	17	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	2	1	44	2	98	94	107	1	2	20

分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	6	1	687	4	564	152	766	378	7	96

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	315	706	36	200	13	2013	160	2757	74	46

分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	49	51	165	12

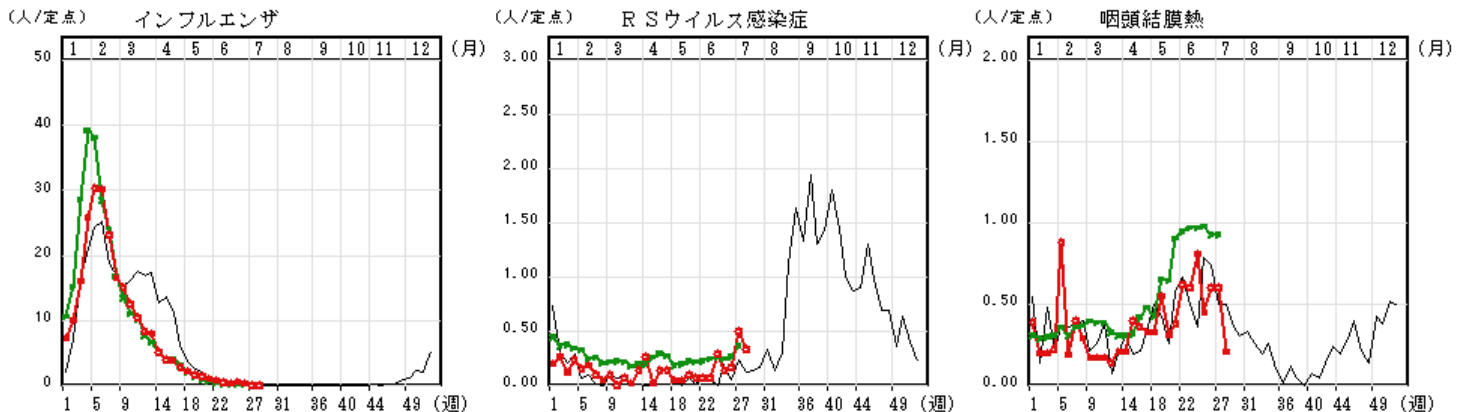
青森県（2017年第28週までの累計）

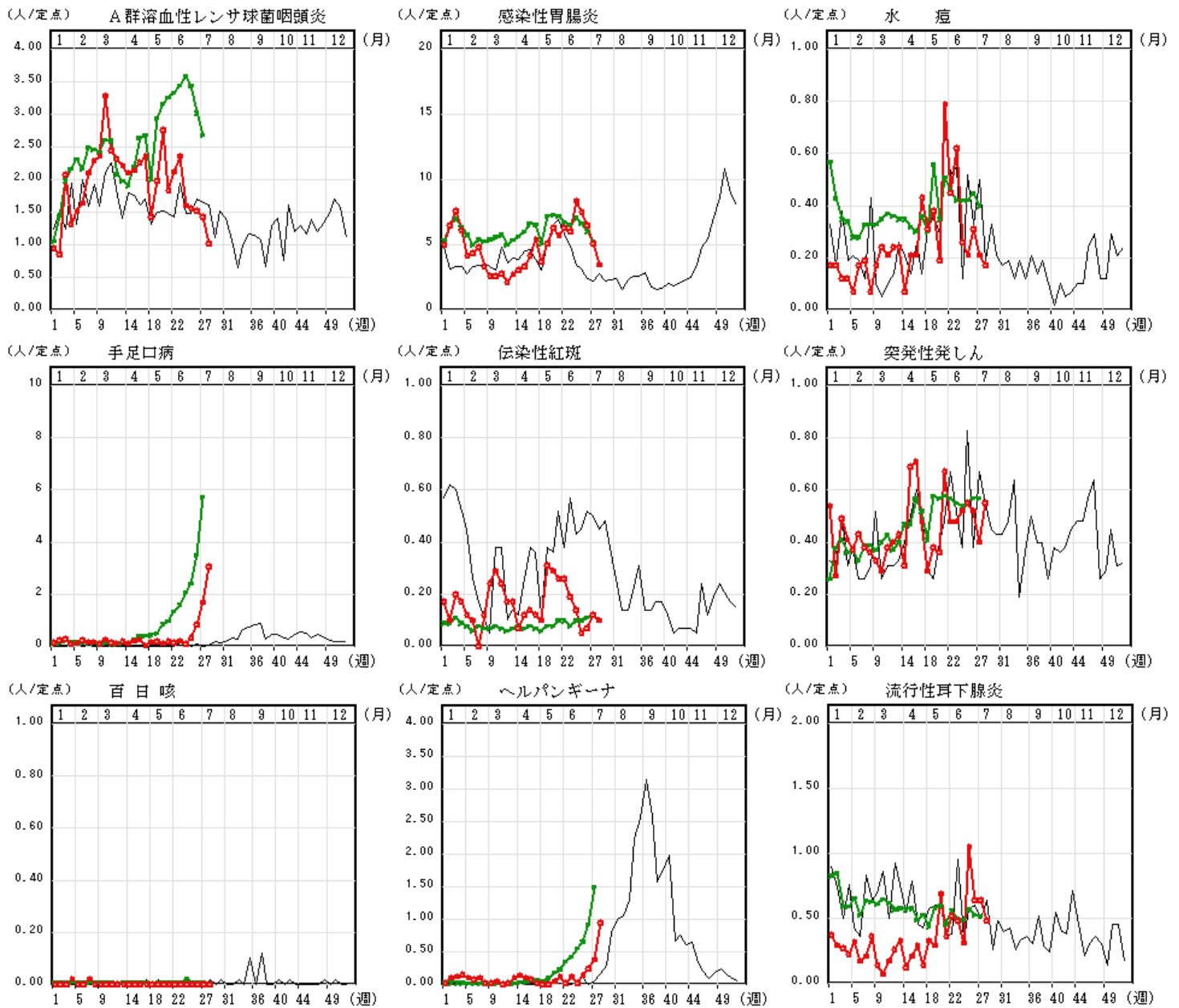
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	161	8	5	2	9	6	3	10	1	2

分類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	5	8	43

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第28週、ただし全国は前週）

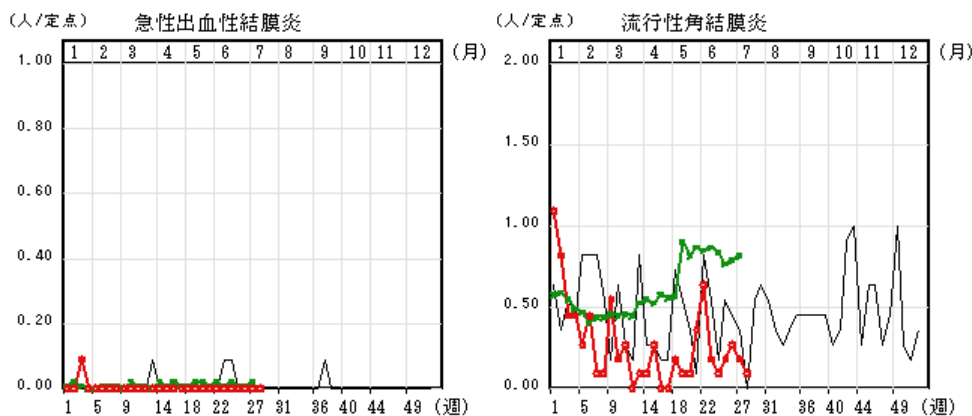
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×——×は2017年全国





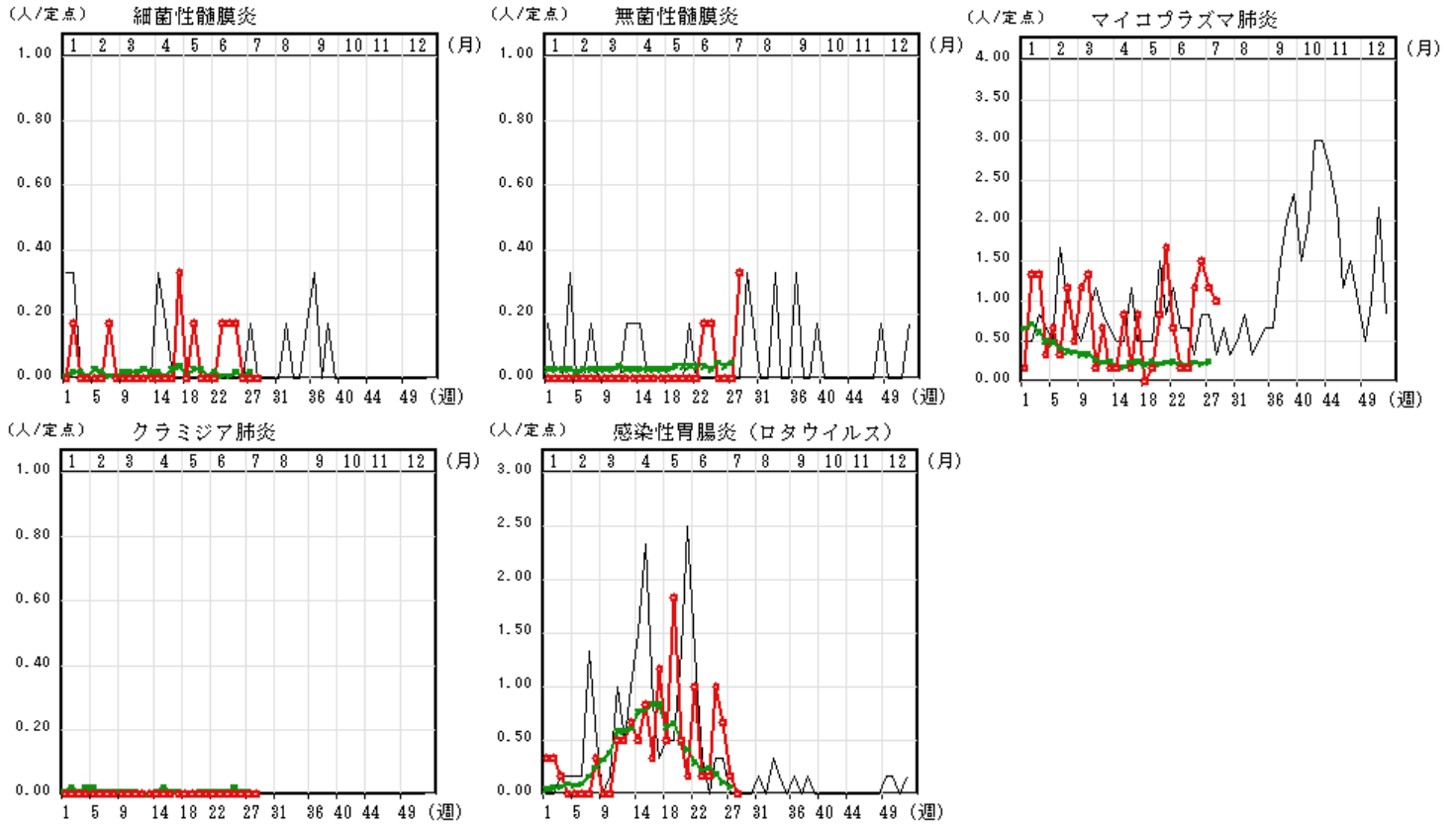
Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第28週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2017年第28週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第28週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26週	27週	28週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	0	212